

るものと考える。

- 4) 大割肉片の割合については、特にLについて前軀31%、中軀36%、後軀33%と理想的なもので、またYについても、本品種としては極めて良好で後軀が32.3%もあったが、YLについては、前軀33.0%、中軀37.3%、後軀29.6%と、ハムが劣り、反面中軀が大きく若干向題が残るものと考えられる。
- 5) 背部皮下脂肪については、L 2.6cm、Y 2.8cm、YL 3.0cmであり、YLが最も劣った。しかし対照に供用したYは特に優れた系統のものであったこと及びYLについては、その組合せ向の相性等の關係もあるので、今後更に追求しなければ未だ断定し得えないものとする。
- 6) 肉質については、色沢、脂肪の交離等は、Yが最も優れていたが、LとYLの色沢は淡く、更にYLの筋束は特に粗く劣っていた。  
肉繋りについては、Y、Lともに各1頭づつ若干ゆるいものが認められたがYLについてはこのような欠点は認められなかった。  
なお、食味については、Y、L、YLの順でYLについては特に肉題があるものと考えられる。

## 5. むすび

以上総合して、L及びYLはYと比較し、肥育日数で若干短縮し得ても、飼料消費量とYLについては、これに加えて肉質上の向題が残るようである。勿論このことは、本試験の結果のみから結論し得ない訳であり、今後これらの点について調査し、特にYLについては、系統的な組合せについても、充分追究する必要があるので、今後は前項において指摘した種々の向題点について改善すべく、雑種利用の開發に努める必要がある。

なお、L及びYLについては、飼育管理上在来のYと比べ特に困難な条件は見当らなかつたことを付記しておく。

## 八 昭和38年度、豚産肉能方検定成績(抄録)

宮川正夫、菅原兼太郎、大橋昭也、加藤巴之吉

### 1. 目的

種豚の産肉性に關する經濟的能力を把握し能力のすぐれた種豚の造成普及を図る。

### 2. 検定方法

當場養の種豚から生産され、産子能力検定に合格した同腹子豚中から

雄雌各2頭づつ計4頭を選んで1組とし、下記の6組について実施した。

なお、飼養管理その他検定の実施については、すべて豚産肉能力検定規程に従って行った。

### 3. 検定豚

検定豚の血統はつぎのとおりである。

組別	血統		検定豚の 生年月日
	父	母	
38-S-1	東35-29コーエーキンリュール	アンテリーハンサムロビクマザワ2-5	38. 3. 6
38-S-2	スイントンマイデシウンオグラク2	東36-13マグネットジョイフル	38. 3. 16
38-S-3	東35-29コーエーキンリュール	東36-8ローヤルスインホール	38. 3. 20
38-S-4	スイントンマグデシウンオグラク2	東35-29ウイルミントンスイン	38. 3. 27
38-S-5	東35-29コーエーキンリュール	テルハスイントンシバハラ2-6	38. 4. 6
38-A-1	スイントンマイデシウンオグラク2	アンテリーハンサムロビクマザワ2-5	38. 8. 28

### 4. 検定成績

#### (1) 発育

組別	生後日令			検定所要日数			1日平均増体重		
	開始時	前期終了時	検定終了時	前期	後期	全期間	前期	後期	全期間
	日	日	日	日	日	日	g	g	g
38-S-1	86	141	203	55	62	117	552	642	600
38-S-2	78	140	197	62	57	119	534	652	591
38-S-3	78	130	193	52	63	115	572	640	609
38-S-4	75	130	193	55	63	118	552	638	598
38-S-5	85	136	198	51	62	113	587	646	616
38-A-1	93	153	213	60	60	120	501	668	584

## (2) 飼料所要量

組別	前期		後期		全期間	
	消費量	要求率	消費量	要求率	消費量	要求率
38-S-1	85.9 <sup>kg</sup>	2.871	162.0 <sup>kg</sup>	4.064	247.9 <sup>kg</sup>	3.552
" - " - 2	83.8	2.793	163.7	4.080	247.5	3.530
" - " - 3	80.3	2.681	159.4	3.972	239.7	3.421
" - " - 4	84.3	2.796	162.5	4.075	246.8	3.525
" - " - 5	78.4	2.611	158.4	3.962	236.8	3.383
" - A - 1	92.9	3.082	152.2	3.805	245.1	3.495

## (3) 屠体調査成績

組別	屠肉屠		背腰長			屠	口 - ス		
	歩留	体長	I	II	III		面積	長径×短径	周囲長
38-S-1	66.3%	88.8 <sup>cm</sup>	76.0 <sup>cm</sup>	65.3 <sup>cm</sup>	50.1 <sup>cm</sup>	32.9 <sup>cm</sup>	16.3 <sup>cm<sup>2</sup></sup>	5.3×3.8 <sup>cm</sup>	15.1 <sup>cm</sup>
" - " - 2	68.0	88.5	72.9	63.4	47.7	32.5	17.3	5.5×3.7	15.6
" - " - 3	66.0	89.9	75.4	65.3	49.7	32.4	15.6	5.2×3.3	15.1
" - " - 4	66.9	89.7	76.1	65.9	51.6	33.3	16.5	5.3×3.7	15.4
" - " - 5	67.5	89.6	74.6	64.9	50.1	32.2	14.4	4.6×3.4	14.1
" - A - 1	67.8	88.7	73.5	66.2	50.2	32.9	20.6	5.0×4.8	17.2

組別	大割肉片の割合			背脂肪層の厚さ			
	カタ	ローズバラ	ハム	肩	背	腰	平均
38-S-1	32.2%	37.6%	30.3%	4.5 <sup>cm</sup>	2.4 <sup>cm</sup>	2.9 <sup>cm</sup>	3.3 <sup>cm</sup>
" - " - 2	34.1	35.3	30.6	3.9	2.3	2.8	3.0
" - " - 3	32.6	36.6	30.8	4.1	2.2	2.8	3.0
" - " - 4	31.7	38.0	30.3	4.3	2.4	3.1	3.3
" - " - 5	31.9	37.7	30.4	4.0	2.1	2.6	2.9
" - A - 1	32.3	35.4	32.3	3.5	2.2	2.5	2.8

## 5. 種雄豚検定成績

本年度の検定を以つて4群以上の検定を終了した雄豚2頭の集計値は下記の通りであった。

## (1) 東35-29 コーエーキンリユーホール(5腹20頭)

項 目	単 位	平均値±標準偏差	変異係数	
検 定 日 数	日	114.65 ± 7.46	6.51 %	
検定終了時日令	日	195.80 ± 8.34	4.26	
1日平均増体重	g	610 ± 39.25	6.43	
飼 料 要 求 率		3.420 ± 0.21	6.14	
屠 肉 歩 留	%	67.21 ± 1.80	2.68	
背 腰 長 II	cm	65.09 ± 1.60	2.46	
ロースの断面積	cm <sup>2</sup>	15.35 ± 1.97	12.83	
脂肪層 の 厚 さ	肩	cm	4.14 ± 0.33	7.97
	背	cm	2.25 ± 0.35	15.56
	腰	cm	2.83 ± 0.35	12.37
	平均	cm	3.07 ± 0.28	9.12
ハムの割合	%	30.42 ± 0.97	3.19	

1日平均 増体重	飼 料 要 求 率	背 腰 長 さ - 太 さ	ハムの 割 合	脂肪層 の厚さ	総 合 評 価
A	B	C - C	B	B	B
5×3	4×2	3×1 3×1	4×1	4×2	41点

## (2) スイントン、マイデシウン、オグラ 7-2 (4腹16頭)

項 目	単 位	平均値±標準偏差	変異係数	
検 定 日 数	日	120.30 ± 5.83	4.85 %	
検定終了時日令	日	192.10 ± 7.32	3.81	
1日平均増体重	g	586. ± 26.47	4.52	
飼 料 要 求 率		3.520 ± 0.12	3.41	
屠 肉 歩 留	%	67.96 ± 1.32	1.94	
背 腰 長 II	cm	65.30 ± 1.66	2.54	
ロースの断面積	cm <sup>2</sup>	17.18 ± 1.70	9.90	
脂肪層 の 厚 さ	肩	cm	4.04 ± 0.44	10.89
	背	cm	2.30 ± 0.37	16.09
	腰	cm	3.02 ± 0.31	10.26
	平均	cm	3.11 ± 0.26	8.36
ハムの割合	%	30.05 ± 0.93	3.09	

1日平均 増体重	飼料 要求率	背 腰 長さ—太さ	ハムの 割合	脂肪層 の厚さ	総 合 評 価
B	C	C - B	B	B	B
4×3	3×2	3×1 4×1	4×1	4×2	37

6. 発育課程に伴う体各部の発育状態について

昭和35年度産肉能力検定を実施してから現在まで28組111頭の豚について本検定を実施し、この間20kg、50kg、及び90kg到達時に夫々生体各部の測定を行って来たので今後の参考とするため一応集計を行った。

項 目	N	M ± S	V	
体 長	20 kg	111	63.10 ± 1.66 <sup>cm</sup>	2.63 %
	50	111	86.02 ± 1.94	2.26
	90	111	104.90 ± 3.61	3.44
胸 囲	20	111	57.94 ± 1.62	2.80
	50	111	80.64 ± 2.12	2.63
	90	111	102.65 ± 2.23	2.17
管 囲	20	91	10.29 ± 0.38	3.69
	50	91	12.91 ± 0.41	3.18
	90	91	15.08 ± 0.51	3.38
体 高	20	92	37.04 ± 1.60	4.32
	50	92	49.84 ± 1.38	2.77
	90	91	60.23 ± 1.38	2.29
胸 深	20	92	18.46 ± 0.60	3.25
	50	92	26.53 ± 0.79	2.98
	90	91	33.47 ± 0.88	2.64
前 幅	20	92	15.35 ± 0.71	4.64
	50	92	21.52 ± 0.85	3.95
	90	91	26.75 ± 0.76	2.84
胸 幅	20	92	14.36 ± 0.47	3.33
	50	92	20.07 ± 0.85	4.23
	90	91	25.44 ± 0.69	2.72
後 幅	20	92	15.00 ± 0.84	5.60
	50	92	20.76 ± 0.79	3.80
	90	91	25.37 ± 0.61	2.40